様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　15 日

１．職名・氏名　助教・藤田 祐子

２．学位　　学位　博士、専門分野　保健学、授与機関　金沢大学大学院、授与年　2020 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **セルフケア支援論**（2 単位）2 年次後期
②内容・ねらい がんを含む慢性疾患を持つ人々の健康の回復または健康障害を持つ人々がセルフケアを促進し、その人らしい生活を送るための支援に必要な看護の知識と援助方法を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 腎不全看護を担当した。学生が看護を学ぶ上で、既習の学習と結びつけながら学習できるよう教育を行った。また、4～5 人グループでディスカッションする時間を設け、看護について自ら考え学べるよう工夫した。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **成人慢性看護学演習**（1 単位）3 年次前期
②内容・ねらい がんを含む慢性疾患を持つ人および運動機能障害を持つ人がセルフケアを促進し、その人らしい生活を送るための支援に必要な看護の知識と援助方法を学習する。また、看護問題の解決に必要な思考プロセスを養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 後期の成人慢性看護学実習および療養生活マネジメント実習に向けて、セッション 1～２に分け、セッション 1 ではがん化学療法を受ける患者の事例展開、セッション 2 では退院支援を必要とする患者の事例展開を行う。看護技術演習では血糖測定と温罨法を 4 人編成のグループで実施した。また、退院前カンファレンスのロールプレイを学生 8 人編成のグループで実施した。演習は、個人ワークとグループワークとし、教員 3 人で 3~4 グループずつ受け持ち、少人数指導による学生の個別性に合わせたきめ細かい教育を行っている
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **成人慢性看護学実習**（2 単位）3 年次後期
②内容・ねらい 臨床の場において慢性の病をもつ人およびターミナル期にある人とその家族に最もふさわしい看護を提供する基礎能力を養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 病態や検査、治療、看護が既習の学習と結びつくよう学生のレディネスに合わせた教育を心がけている。また、学生が主体的に行動できるよう、教員に相談しやすい雰囲気づくりに努めている。カンファレンスでは、対象の全体像や看護上の問題、学生自身が困っていることなどの発表から、自己の課題と学生の学びが最終目標に向かうように指導している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **成人看護発展セミナー**（1 単位）4 年次前期
②内容・ねらい 既習の緩和ケア論で修得した知識および基礎看護学実習・専門領域看護学実習の体験を生かしながら、緩和・ターミナル期の病状経過に応じた患者・家族の援助を考える応用編である。緩和ケアに関して関心のあるトピックスを自ら調べ、そのテーマに関する文献抄読やディスカッションを行い、緩和ケア外来および緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、緩和ケア在宅医療を学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生が施設へ行く前に、文献抄読の報告会を行い、学生自身の疑問や学習の目的を明確にしている。また、最終日にも施設で学んだことディスカッションし、緩和ケアについての学びを深められるよう教育を行っている。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
卒業研究（3 単位）4 年次通年

②内容・ねらい
看護実践を発展させるための看護研究のプロセスを理解し、研究態度を身につける。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
本年度は本学外への対象者も調査可能となり本来の卒病研究に戻った。講義をしながら、研究テーマの決定、文献検討、研究計画書立案を行った。倫理審査委員会の承認後、1 名は看護師を対象に質的研究を行い、1 名は入院患者の家族を対象に質問紙調査を行った。分析、考察、論文執筆指導を行った。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
導入ゼミ（1 単位）1 年次前期

②内容・ねらい
福井の街中を探索し、関心のあるテーマについて理解を深める。その過程で大学生として身に着けておくべき各種基本スキルを訓練する

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
大学に入学したばかりの学生に教授するため、自己紹介や同じクラスの学生同士で気軽に話ができるような空間づくりを行った。また、コミュニケーションスキルや大学生としてのマナー等今後に役立つような内容を考えて教育を行った。授業では永平寺町へ行って、実際に見ることでテーマについて疑問を解決したり関心を高めたりできるようフィールドワークを行った。
【フィールドワーク　1 件】

(2)その他の教育活動

内容
・福井県看護協会看護研究グループ指導講師（2023 年から現在）

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 【　本】
③その他論文（査読なし） 【　本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 ・透析患者の内シャント自己管理に関する研究活動紹介 （福井県立大学看護福祉学部研究セミナー．2023.11.15） 【1 件】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 ・科学研究費助成基金若手研究　新規 生活背景因子による糖尿病患者タイプ分類の試み―療養行動支援に向けて―　研究代表者
(3)特許等取得
(4)学会活動等
・日本糖尿病教育・看護学会　専任査読者　2020 年から現在 ・日本腎不全看護学会専任査読者　2021 年から現在

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・1，2 年副担任　2023 年～現在に至る ・実習検討委員会　看護学科内　2022 年～現在に至る ・卒業研究係　2022 年～現在に至る
(3)学内行事への参加
・前期オリエンテーション（1 年次生 4 月 4 日、2 年次生 4 月 5 日） ・高校入試説明会　武生東高校 7 月 5 日
(4)その他、自発的活動など